

NO. 12  
平成19年  
(2007)

# 環境ひらかた

1  
月号

## 14のテーマで環境出前授業を実施!



### 枚方なぎさ高校1年生全クラスを対象に

環境教育サポート部会は12月7日、枚方なぎさ高校で、1年生7クラス全員(280人)を対象に環境出前授業を実施しました。

今回は、団体会員や公共交通部会、まちづくり部会、枚方市の協力を得て、14のテーマを扱うという一大出前授業となりました。

原爆体験談や省エネ活動、交通双六、風呂敷利用、里山保全、生活排水学習など…。環境について、様々な角度からの知識や情報を得ることができ、生徒の環境問題への関心も高まったように感じます。

(2ページに関連記事)

### 目次

枚方なぎさ高校環境出前授業	2
バスイベント・第2回理事会開催	3
各部会&運営委員会の活動	4
まちづくり部会紹介	6
お知らせコーナー	7
団体紹介(エコスマイルひらかた)	8

## 環境教育サポート部会 枚方なぎさ高校で環境出前授業を実施

# NW会議会員・部会、行政の協力で14テーマでの授業を実現

環境教育サポート部会では、これまでも枚方なぎさ高校で環境出前授業を実施してきましたが、今回はネットワーク会議の他部会との連携を図ることや授業内容を多様にするなどを目的に、14テーマでの環境出前授業の実施を実現しました。1年生全員を14のグループに分け、1グループにつき1テーマの授業を行います。様々な実習を織り交ぜた内容に、生徒達も興味深く聞き入っていました。



【テーマ9】  
自転車の定期点検方法を教わる学生

【テーマ7】  
IT技術を使った、良質な環境の創出（デザイン）について学ぶ



### ひらかた環境くらわんか塾開講

今年で2期目を迎えた、平成18年度『ひらかた環境くらわんか塾』講座は、10月28日の第1回を皮切りに座学その他、市内の環境施設見学を含んだ内容で第5回まで終えました。「環境教育サポーター」を目指す12人の受講生は、枚方市が平成18年度から始めた学校版環境マネジメントシステム（S-E-M-S）の審査に向けて様々なスキルを身につけており、応用編では実際に審査に同行する予定です。2月3日の最終回（第8回）は「エコフォーラム2007」と同時開催です。参加自由ですので、ぜひ見学にお越し下さい。



市内見学で、関西リサーチシステムズ（株）を訪問

	テーマ	講師名（所属等）
1	親子3代の身近な生活を比較し、これからのあり方を学び合う	石川 忠義（環境教育サポート部会）
2	便利で豊かな生活を支える環境とこれから	中野 正秀（環境教育サポート部会）
3	昔の暮らし - 戦時中の暮らしと原爆体験 -	橋田 悟（環境教育サポート部会）
4	エネルギー・省エネ活動	矢野 修（環境教育サポート部会）
5	交通双六でひも解く交通問題	松村 暢彦（公共交通部会、大阪大学） 他 公共交通部会メンバー
6	環境問題と市民活動	田中 晃（環境教育サポート部会）
7	環境とデザイン	谷口 興紀（環境教育サポート部会、大阪産業大学）
8	風呂敷でエコライフを！	沼本 啓子（環境教育サポート部会）
9	自転車から見える環境問題と解決策	鎌田 徹（公共交通部会） 河上 勲（枚方ICサイクル）
10	「環境革命」の時代	宮永 昌男（環境教育サポート部会、龍谷大学）
11	ふくろうを通してみた枚方の里山	稲森 郁子（環境教育サポート部会、尊延寺の自然を守る会）
12	環境、ケンチク、ひと	加藤 純（まちづくり部会、一級建築士事務所作人）
13	水処理・きき水調査・枚方市の下水について	北村 義博（水道局浄水管理室） 辻本 雅一（同水道総務課） 赤岩 吉一（下水道部下水道総務課） 友田 成彦（同）
14	生活排水学習	神田 和幸（環境保全部環境公害課） 宮岡 絵美（同）

第2弾(史跡編)  
第3弾(お店編)

## 「くずは・男山バスタウンマップ」完成記念イベント パート2 バスからまちを見直し、よくする活動を

### バスの利便性の高さへの気づきを

公共交通部会では11月12日、国土交通省近畿運輸局や枚方市などの協力を得て、「くずは・男山バスタウンマップ」第2弾史跡編、第3弾お店編の完成記念イベント「バスのって ゲームラリー」を開催しました。このイベントは地域の魅力を再発見し、バスの使い方や利便性の高さに気づいてもらうことを目的として、小学生からお年寄りまで幅広い年齢の方々、126名に参加していただきました。



### スタンプポイントは「公園・史跡」と「おすすめの店」

今回で2回目となるスタンプラリーは、平成17年12月の住民アンケートでおすすめの店として紹介していただいたお店と、前回紹介しきれなかった公園・史跡をポイントに設定しました。それ

らをバスで回り、スタンプを集めたりクイズに答えたりしながらスタンプシートを完成させてもらいました。様々な参加賞(割引券や商品等)を用意して下さったお店もあり、地域の貴重な財産である魅力的なお店とバスとの結びつきを自然と知ることができました。

### 子どもにとってバスは社会のルールを学ぶ場

大人1人につき同伴の小学生以下2人までが無料になる大阪府「バスエコファミリーキャンペーン」期間中のため、京阪バスがゲーム範囲内有効の1日乗車券も同様の扱いにしてくださり、親子連れの参加者で賑わいました。また、大阪大学大学院の松村暢彦助教授による“子どもたちにとってバスは社会のルールを学ぶ場でもある”というバスを再認識する講演もあわせて実施しました。

**参加者の声:**「近くに住んでいても知らない史跡やお店など新しい発見があって楽しかった」、「またバスに乗ってみたいと思った」

これらを受けて、公共交通部会では引き続き、バスからまちを見直し、まちをよくする活動を市民の目線で行っていきたいと思います。

## 第2回理事会開催

### 規則改定及び規程・顧問など承認

11月10日、第2回理事会をサブリ村野の会議室で開催しました。

### 理事・事務局長の辞任と新事務局長就任を承認

午前10時に開会、理事総数16名中出席者数16名(本人出席12名、議決権行使書出席1名、委任状出席3名)により、定足数を満たしていることが確認され、理事会が成立しました。

議長には谷崎利男理事長を選出し、議長の進行により議案の審議に入りました。

第1号議案「規程承認の件」、第2号議案「規則改定の件」、第3号議案「運営委員任命の件」、第4号議案「顧問の承認に関する件」、第5号議

案「理事等の辞任に関する件」、第6号

議案「事務局職員配置等承認の件」、第7号議案「事務局職員賞与基礎支給率承認の件」、すべての案件が原案どおりに承認可決されました。

### 新規プロジェクトチーム発足を報告

また、5部会から活動内容、今後の主要イベントの変更点、新規プロジェクトチーム(PT)として地産地消PTの発足について報告されました。

なお、議事録をホームページにアップしていただきますのでご覧ください。



## ●各部会の活動

### 自然環境部会



## 想いはひとつ「自然環境の保全推進のために！」

皆さんは「自然環境部会」と聞いてどのような活動を想像されますか？

ネットワーク会議が発足して間なしに、みんなで「自然環境部会」として取り組みたいこと、関心事について出し合ったところ、「東部の里山や市内の緑地保全」、「天の川や船橋川等市内の河川の清流化」、「自然が大事ということの体験の場作り」、「環境関連の制度についての学習」等々、実にさまざまなことが挙げられました。一言で「自然環境」といっても関心事はこのように多様で、それ故どんなことに取り組んでいけばよいのか絞り込むのは大変難しいことです。

それでも、みんなの想いはひとつ、「自然環境の保全推進のために何かしなければ！何かしたい！」。その想いのもと、出来る事から取り組んでいます。

### ごみ・エネルギー部会



## 市民共同発電所「ひらかた・おひさま発電所」設置を目指して

ひらかた自然エネルギー学校(RESH)2006 運営 WG：本年度講座も第6回(1/13)、第7回(2/3)を残すのみとなりました。市内の団体・個人の方々からのご協賛と、各分野で高名な講師の方々のご協力を得て受講生と共に充実した講座を続けています。第6回は「バイオマス利用」、第7回(最終回)は「自然エネルギーと住まい方・住宅」および受講生による「自然エネルギー普及への思い(グループ発表)」等を予定。また運営スタッフ中心に「市民共同発電所プロジェクト：ひらかた・おひさま発電所」の設置計画も鋭意推進中です。

生ごみ資源化 WG：「地産地消費プロジェクト：自然農法による食の市内循環モデル構築」で“生ごみのたい肥化”を担当。自然農法に供するたい肥の一つとして、枚方市減量業務室にご協力いただき、市内小学校単独調理場での生ごみたい肥化装置の運転状況、処理物の利用等を調査・検討しています。

雨水モニター WG：府事業「おおさかレインボウふるじえくと！」の雨水モニターとして雨水利用の普及活動をしています。その一つ「あまみず環境学習センター」は、関西雨水市民の会から会長、副会長をお招きし、RESH 2006 第5回講座「雨水利用」を実施。また年間を通じ、グリーンハウス福祉事業所(サリ村野)の花壇の散水および液肥希釈用に雨水を利用。雨水タンクなど設備設置に関する情報提供の準備も進めています。

### 公共交通部会



## くずは・男山バスタウンマップ 第4弾は「福祉施設編」



レンタサイクル：11月14日から1年間にわたる「牧野駅レンタサイクル試行」をスタートさせました。枚方市、シルバー人材センター、京阪電鉄、枚方エコサイクル、ネットワーク会議などで「ひらリン導入検討会」を構成して実施しています。



くずは・男山バスタウンマップ：11月に「史跡編」及び「お店編」を作成し、お披露目イベントとして、11月12日に「バスのってゲームラリー」を126名の参加を得て行いました。さらに、第4弾「福祉施設編」に向けて作業を進めています。